

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅡA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する				
到達目標	ブライダルコーディネート技能検定3級合格を目指す ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる				
評価基準	テスト:60% 小テスト(提出物):30% 授業態度:10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ブライダルコーディネート技能検定3級				
関連科目	ブライダル知識Ⅰ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	野中 菜美	実務経験	○		
実務内容	ホテル3社にてウェディングプランナーとして11年勤務した後、ドレスコーディネーターとしてドレスの知識・技術を習得。現場での知識・経験を基にブライダル業界にて求められる知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次振り返り 海外ウェディング・二次会	1年次振り返り 海外ウェディング、新婚旅行、二次会会場、1.5次会について理解する
2	コーディネーター業務 コーディネーターの役割	セールスと施行について理解する 担当制と分担制の違いについて学ぶ コーディネーターの当日の役割について理解する
3	新規業務 ホスピタリティ営業	カップルの動き、集客方法について知る ブライダル商品の特徴を知る
4	プランニング 成約業務	プランニング、プレゼンテーション方法を理解する 結婚式当日までの大まかな打ち合わせスケジュールを理解する 成約時どのような手続きが必要なのか知る
5	成約～当日 打ち合わせの流れ	時期に合わせた打ち合わせ内容を理解する
6	コーディネート 会場コーディネート テーブルコーディネート	会場内のコーディネートについて理解を深める
7	衣裳① 衣裳、ヘアメイク、着付け①	衣裳、ヘアメイク、着付けについての知識を身につける
8	衣裳② 衣裳、ヘアメイク、着付け②	衣裳、ヘアメイク、着付けについての知識を身につける
9	フラワーアイテム 装花の手配	フラワーアイテムについて理解する 手配スケジュールについて知る
10	ペーパーアイテム ペーパーアイテムの手配	ペーパーアイテムの手配スケジュールを知る ペーパーアイテムの注意点について学ぶ

11	料理、飲物① テーブルセッティング①	料理・飲物についての知識を身につける テーブルセッティング方法について知る
12	料理、飲物② テーブルセッティング②	料理・飲物についての知識を身につける テーブルセッティング方法について知る
13	引出物、引菓子 記録、記念アイテム	各アイテムの内容、注意点を知る 手配スケジュールについて知る
14	前期テスト	前期テスト実施
15	総まとめ	テストの振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅡB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する				
到達目標	ブライダルコーディネート技能検定3級合格を目指す ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる				
評価基準	テスト:60%・提出物:30%・授業態度:10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ブライダルコーディネート技能検定3級				
関連科目	ブライダル知識Ⅰ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	野中 菜美	実務経験	○		
実務内容	ホテル3社にてウェディングプランナーとして11年勤務した後、ドレスコーディネーターとしてドレスの知識・技術を習得。現場での知識・経験を基にブライダル業界にて求められる知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	一般常識問題	一般常識問題を想定し解答する
2	筆記問題対策①	ペアを作り、今までの問題を解く(100問ずつ)
3	筆記問題対策②	
4	筆記問題対策③	
5	筆記問題対策④	
6	実技対策①	対策問題、予想問題を使用し問題を解く
7	実技対策②	
8	実技対策③	
9	実技対策④	

10	模擬テスト①	対策問題を解く
11	模擬テスト②	
12	模擬テスト③	
13	模擬テスト④	
14	検定振り返り	検定を振り返り答え合わせをする
15	総合授業	これまでの授業総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	各校就職ガイドBOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける				
到達目標	就職活動の流れを理解する 魅力的な履歴書の書き方を習得する 面接方法が実践できる				
評価基準	授業態度30%・提出物30%・面接40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	野中 菜美	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動について	就職活動のルールについて理解する
2	社会で求められる人材について	社会で求められる能力を理解する
3	履歴書作成①	志望動機・自己PRを作成し、履歴書を完成させる
4	履歴書作成②	
5	面接練習①	・グループ面接の重要性を理解し、グループ面接を実践する ・よく聞かれる質問に対して、受け答えが出来るように学ぶ
6	面接練習②	
7	面接練習③	・WEB面接の重要性を理解し、WEB面接を実践する ・よく聞かれる質問に対して、受け答えが出来るように学ぶ
8	面接練習④	
9	グループディスカッション①	グループディスカッションの進め方を理解する

10	グループディスカッション②	グループディスカッションの役割を理解し、グループディスカッションを実践する
11	グループディスカッション③	
12	面接練習⑤	個人面接の重要性を理解し、個人面接を実践する。よく聞かれる質問に対して、受け答えが出来るように学ぶ
13	面接練習⑥	
14	面接練習⑦	
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	各校就職ガイドBOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける				
到達目標	就職活動の流れを理解する 社会人に必要なマナーやスキルを理解する				
評価基準	授業態度40%・提出物30%・テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	キャリアデザインⅡA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	野中 菜美	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	社会人とは	社会の一員となることを理解する
2	社員とアルバイトの求められるものの違い	社員とアルバイトの求められるものの違いを理解する
3	社会人基礎力について	社会人として求められる考え方・行動について理解する
4	社会人に求められるスキルについて①	働くにあたり、どのようなスキルが必要なのかを理解する
5	仕事の進め方	仕事の進め方について学ぶ
6	社内マナーについて	社内のマナーについて学ぶ
7	人間関係構築力について①	良い人間関係を築く為に、どのように行動したらいいのかを学ぶ
8	人間関係構築力について②	
9	ToDoリスト作成について①	優先順位の立て方を理解し、どのように仕事を行うのかを学ぶ
10	スケジュール管理について	スケジュールに立て方、管理の仕方を学ぶ

11	年賀状の書き方について	内定を頂いている企業様へ年賀状を書く年賀状の書き方を学ぶ
12	初期クレーム対応の仕方について①	クレームが発生する時はどのようなケースが多いのかを学ぶ
13	初期クレーム対応の仕方について②	クレーム発生時の初期対応の仕方について学ぶ
14	テスト	テストを実施する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルジュエリー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルジュエリー		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルに関わるジュエリーの基礎知識を学ぶ				
到達目標	ブライダルジュエリーの基礎知識、業界の動向を学び、お客様に幅広い提案の出来る人材となる				
評価基準	テスト50%・プレゼン30%・授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	Yukie	実務経験		○	
実務内容	アメリカにてアパレル企業立ち上げ、日本国内ではデザイナー、バイヤー等様々経験。イメージコンサルティングも学んでおり、英会話や話し方など仕事に役立つ知識を指導。実務経験を基に、ジュエリーに関する知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	ブライダルジュエリーの知識の必要性 ブライダルジュエリーの歴史
2	ブライダルジュエリー基礎①	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
3	ブライダルジュエリー基礎②	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
4	ブライダルジュエリー基礎③	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
5	ブライダルジュエリー基礎④	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ (コーディネートプレゼン①準備)
6	ブライダルジュエリー基礎⑤	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ (コーディネートプレゼン②グループ発表)
7	ブライダルジュエリーブランドを調べる①	ブライダルジュエリーブランドの企業研究を行う(国内ブランド)
8	ブライダルジュエリーブランドを調べる②	ブライダルジュエリーブランドの企業研究を行う(海外ブランド)
9	指輪のサイズ	指輪のサイズの調べ方を学び、実際に各自のサイズを知る
10	ラッピング技術	実践で使えるラッピング技術を学ぶ

11	ブライダルジュエリー実践	ジュエリーのメンテナンス方法を学ぶ
12	プロポーズの提案①	商品を購入したお客様にプロポーズの提案を行う
13	プロポーズの提案②	提案したプロポーズ方法を発表する
14	前期試験	筆記テストを行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅡA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日頃の授業のアウトプットを行いながら、行事の準備を進めることで、主体性・協調性・実践力を身に付ける				
到達目標	今まで授業の中で学んできた技術・知識を活かし、実践力を身に付ける 現場に近い手順で進めることで、企画立案施行を学ぶ				
評価基準	提出物40%・振り返り30%・授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトⅡB、ドレスソーイング&メンテナンスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	野中 菜美	実務経験	○		
実務内容	ホテル3社にてウェディングプランナーとして11年勤務した後、ドレスコーディネーターとしてドレスの知識・技術を習得。現場での知識・経験を基に挙式披露宴を施行するうえでの準備、当日の運営までを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入①	動機づけ・当日までのスケジュール・各セッション説明について
2	導入②	デッサンシート、構成シートの書き方・全体テーマ発表・チーム分け
3	各チーム準備①	チーム目標立て・チームテーマ決め・各セッション、モデル決定
4	各チーム準備②	スケジュール立て・デッサンシート作成・クラス費の使い方説明・予算立て
5	各チーム準備③	構成シート、デッサンシート作成・ドレス決定・演出決定・BGM決定
6	各チーム準備④	構成シート、デッサンシート作成、練習・作成(ドレスメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等)
7	各チーム準備⑤	練習・作成(ドレスメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等)
8	各チーム準備⑥	練習・作成(ドレスメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等)
9	各チーム準備⑦	練習・作成(ドレスメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等)
10	各チームリハーサル①	各チームで本番同様の流れでリハーサルを行う

11	各チームリハーサル②	各チームで本番同様の流れでリハーサルを行う
12	リハーサル	全チームで通しリハーサル
13	行事本番	行事本番
14	振り返り	振り返りを行う
15	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅡB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日頃の授業のアウトプットを行いながら、行事の準備を進めることで、主体性・協調性・実践力を身に付ける				
到達目標	今まで授業の中で学んできた技術・知識を活かし、実践力を身に付ける 現場に近い手順で進めることで、企画立案施行を学ぶ				
評価基準	提出物40%・振り返り30%・授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトⅡA、ドレスソーイング&メンテナンスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	野中 菜美	実務経験	○		
実務内容	ホテル3社にてウェディングプランナーとして11年勤務した後、ドレスコーディネーターとしてドレスの知識・技術を習得。現場での知識・経験を基に生徒のみで挙式から披露宴を創り上げることができるよう、求められる知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	プロジェクトについて・当日までのスケジュール、各セッション説明について
2	目標・テーマ・各セッション決定	チーム目標立て・チームテーマ決め・各セッション、モデル決定
3	スケジュール・予算立て デッサンシート作成	スケジュール立て・構成シート、デッサンシート作成・クラス費の使い方説明・予算立て
4	各セッション制作①	構成シート、デッサンシート作成・ドレス決定・演出決定・BGM決定
5	各セッション制作②	構成シート、デッサンシート作成、練習・作成(ドレスリメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等)
6	各セッション制作③	練習・作成(ドレスリメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等)
7	各セッション制作④	練習・作成(ドレスリメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等)
8	各セッション制作⑤	練習・作成(ドレスリメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等)
9	モデルウォーキング	モデルウォーキング・各セッション、動きの確認
10	ショーリハーサル①	ショー通りリハーサル・タイム取り

11	ショーリハーサル②	ショー通しリハーサル・タイム取り
12	全体リハーサル①	お仕度から通しリハーサル
13	全体リハーサル②	会場にて通しリハーサル
14	振り返り	振り返りを行う
15	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイク&フォトA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイク&フォトA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	メイク教材一式、ヘア教材一式 ブライダルメイクアップテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	お客様が喜ばれるフォトウェディング術を身に付ける				
到達目標	ブライダルメイクアップ検定取得 フォトウェディングの理解を深めると共に1年生で行った顔分析を踏まえ、その技術を活かすことができる				
評価基準	作品制作30% 実技テスト30% 小テスト(課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が掃除関数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	日本トータルメイクアップ協会 ブライダルメイクアップ検定				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本美 さちこ	実務経験	○		
実務内容	美容室に勤務しブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして現役活動。実務経験を基に、お客様に喜ばれるフォトウェディングの技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 授業スケジュールの確認 ブライダル検定対策	オリエンテーション <input type="checkbox"/> ブライダル検定までのスケジュール確認(復習) <input type="checkbox"/> テーマ:ラグジュアリー イメージを理解する ⇒デモンストレーション後、相モデルで実践
2	ブライダル検定対策	<input type="checkbox"/> テーマ:クラシカル イメージを理解する ⇒デモンストレーション後、相モデルで実践
3	検定対策①	■ブライダルの現場でも使えるメイクパターンを使用した検定取得に向けて実践する ～8パターン&プレゼン練習～ <input type="checkbox"/> デッサンシート書きかた <input type="checkbox"/> プレゼンの仕方導入 <input type="checkbox"/> モデル確保について <input type="checkbox"/> 8パターンを行う <input type="checkbox"/> 時間内に仕上げる
4	検定対策②	
5	検定対策③	
6	検定対策④	
7	検定対策⑤	
8	検定対策⑥	
9	白ドレスに合わせた ヘアメイク	ヘア&メイク通して仕上げる メイク→可愛いor綺麗 ヘア→アップスタイル <input type="checkbox"/> ヘアメイクを通して仕上げる事により全体バランスを理解できる <input type="checkbox"/> タイムワークを意識 <input type="checkbox"/> 手順、流れを意識し理解できている
10	もしくはKPフォトコン	

11	白ドレスに合わせた ヘアメイク もしくはKPフォトコン	似合わせヘア&メイク 目元→ニュアンス ソフトベールトーン、暖色系可愛いor綺麗 ニュートラルな無彩色 <input type="checkbox"/> ヘアメイクを通して仕上げる事により全体バランスを理解できる <input type="checkbox"/> タイムワークを意識 <input type="checkbox"/> 手順、流れを意識し理解できている
12		
13	撮影・実技テスト (一人目)	相モデルでそれぞれ撮影 ※一人3コマ
14	撮影・実技テスト (二人目)	相モデルでそれぞれ撮影 ※一人3コマ
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイク&フォトB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイク&フォトB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	メイク教材一式、ヘア教材一式 ブライダルメイクアップテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	お客様が喜ばれるフォトウェディング術を身に付ける				
到達目標	フォトウェディングの理解を深めると共に一年生で行った顔分析を踏まえ、その技術を活かすことができる				
評価基準	作品制作30% 実技テスト30% 小テスト(課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が掃除関数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本美 さちこ	実務経験	○		
実務内容	美容室に勤務しブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして現役活動。実務経験を基に、お客様に喜ばれるフォトウェディングの技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション カウンセリング術を学ぶ	オリエンテーション…後期の授業内容説明 カウンセリングの必要性を説明 カウンセリングの流れ、内容、話術を学ぶ カウンセリングシートの記入の仕方を学ぶ
2	カウンセリング術を学ぶ	カウンセリングレクチャー後、ペアでロールプレイング
3	コントゥアリングメイク	コントゥアリングメイクについて説明 コントゥアリングメイクの実践
4	ドレスに合わせた イメージ撮影準備	カラードレスで考える □モデルの雰囲気やドレスの形、色に合わせたヘアメイクの提案 ・撮影場所、ポーズも考える ・骨格、発色、アイテム、表現力、色々な技法、アイテムを使用し表現する事により似合わせ力、表現力、センスを吸収しメイクのバリエーションが増える
5	ブライダルシーンに 合わせた撮影準備	チャペルや、パンケット、その他撮影アングルなど考えてトータルバランスが良くなるように撮影を考える
6	ブライダルシーンに 合わせた撮影(実技テスト)	ブライダルシーンも踏まえた作品として撮影する
7	卒業制作について 卒業制作準備①	
8	卒業制作準備②	卒業制作に向けて準備を行う 撮影スケジュールを確認 小物アイテム作成、ポーズ、撮影アングル等イメージを細かく考える 撮影に向けてヘアメイク練習、モデルのポーズ確認、ヘアメイクの写り具合など実際撮影し練習する 撮影場所、撮影状況、写真撮影枚数、ポーズ、バスタアップ・全身等アングルによる枚数等
9	卒業制作準備③	

10	卒業制作撮影①	卒業制作に向けて準備を行う 撮影スケジュールを確認 小物アイテム作成、ポージング、撮影アングル等イメージを細かく考える
11	卒業制作撮影②	撮影に向けてヘアメイク練習、モデルのポージング確認、ヘアメイクの写り具合など実際撮影し練習する 撮影場所、撮影状況、写真撮影枚数、ポージング、バスタップ・全身等アングルによる枚数等
12	作品選び・振り返り	卒業制作の作品選び・振り返りを行う
13	卒業式ヘアメイク①	卒業式ヘアメイクについて説明・和装用メイクの説明 卒業式ヘアメイクの実践
14	卒業式ヘアメイク②	卒業式ヘアメイクの実践
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイク I		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイク I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	メイク道具一式 メイクテキスト(ベーシック/ブライダルメイク)		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルメイクの基礎としてベースメイクの質感や、ドレスやモデルに合わせて似合うメイク(色・形・バランス)を感覚的を身につけ技術を習得する				
到達目標	ブライダルの現場で求められる考え方やセンス、メイクテクニックの応用に対応できる				
評価基準	実技テスト30% 筆記テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	栗谷川 佳奈美	実務経験	○		
実務内容	都内美容室で11年勤務。その後フォトスタジオにてヘアメイク、衣装担当として勤務。現場経験を活かしてヘアアレンジの基礎技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション プロポーション プロポーションパーツ フェイススタイル	オリエンテーション <input type="checkbox"/> 顔分析の基本を学ぶ ・プロポーション ・顔のパーツから与える印象を知りどう補うことで補正されるかを考える ・メイクでの調整方法 ・ベースメイク
2	FACESTYLEに合わせた 錯覚メイクや色の錯覚 つけまつげの付け方	<input type="checkbox"/> ベースメイク、アイブロウ、つけまつ毛のつけ方を学ぶ <input type="checkbox"/> メイクの色遣いや形、明度、質感などの変化を学ぶ (練りハイライト、練りチークの使い方)
3	FACE STYLE① (キュート)	<input type="checkbox"/> メイクパターンより、モデルの顔の素顔分析を行い、「顔の長さ」「パーツの位置」「パーツのかたち」を変える事でイメージに合わせたメイクをする
4	FACE STYLE② (エレガント)	<input type="checkbox"/> メイクパターンより、モデルの顔の素顔分析を行い、「顔の長さ」「パーツの位置」「パーツのかたち」を変える事でイメージに合わせたメイクをする
5	FACE STYLE③ (フレッシュ)	<input type="checkbox"/> メイクパターンよりモデルの顔の素顔分析を行い、「顔の長さ」「パーツの位置」「パーツのかたち」を変える事でイメージに合わせたメイクをする
6	FACE STYLE④ (クール)	<input type="checkbox"/> メイクパターンより、モデルの顔の素顔分析を行い、「顔の長さ」「パーツの位置」「パーツのかたち」を変える事でイメージに合わせたメイクをする
7	モデル・似合わせメイク① モデルの顔の特徴と 同じメイクパターン	<input type="checkbox"/> デッサンを描く⇒余白や特徴を覚えて理解する
8	モデル・似合わせメイク② モデルの顔の特徴と 正反対のメイクパターン	<input type="checkbox"/> 学んだ知識を踏まえ顔の分析ができるようになる ①素肌の状態から4パターンにするにはどうしたらよいかを考える ②相モデルで顔分析しデザインシートにどんなテクニックが必要か考える ③モデルの素肌状態は4パターンの内どれかを分析後、顔の長さ、パーツの位置、パーツの形、色、などこれまで学んだ技術を通じ逆パターンのイメージに仕上げる
9	モデル・似合わせメイク③ モデルの顔の特徴と ドレスに合わせたメイクパターン	

10	実技テスト FACESTYLE分析メイクテスト	<input type="checkbox"/> 今まで4つのパターンより、モデルに合わせた顔の分析し、 デッサンとメイクをしテーマに合わせる
11	成人式メイク	<input type="checkbox"/> 成人式メイクを知る 振袖に合わせたメイク・肌の作り方・カウンセリング、提案方法を学ぶ
12	成人式メイク	<input type="checkbox"/> 振袖に合わせたメイクの実践
13	筆記、デッサンテスト	筆記テスト+デッサンテスト
14	実技テスト	デッサンを基に実技テスト
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	ヘアアレンジテキスト、ブライダルメイクテキスト メイク道具一式、ヘアー道具一式		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に身に付けた基礎技術をいかし、更にアレンジを教化しレパートリーを習得する				
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げるができる				
評価基準	実技テスト30% 作品採点30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	栗谷川 佳奈美	実務経験	○		
実務内容	都内美容室で11年勤務。その後フォトスタジオにてヘアメイク、衣装担当として勤務。現場経験を活かしてヘアアレンジの基礎力を向上させ、ヘアアレンジの応用技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ヘアアイロスタイル①	オリエンテーション ヘアスタイルとして巻きの構成とスタイリングを考え実践する
2	ヘアアイロスタイル②	ヘアアイロンを使い、スタイリングを行う
3	ハーフアップ①	スタイルの構成を理解し作品作りに繋げる
4	ハーフアップ②(人頭)	
5	ハーフアップ 小テスト	ホットカーラーからヘアセットまでの時間を計る
6	面出しシニヨン①	面を綺麗に出すシニヨンの作り方
7	面出しシニヨン②	
8	シニヨンアレンジ①	シニヨンをベースにアレンジする
9	シニヨンアレンジ②	
10	シニヨン 実技テスト	ホットカーラーからヘアセットを時間を計る

11	洋装スタイル①	小テスト(作品採点)有
12	洋装スタイル②	
13	和装スタイル①	小テスト(作品採点)有
14	和装スタイル②	
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルプランナー検定Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルプランナー検定Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	3	45
使用教材	The Business of American Weddings The Business of Japanese Weddings ABC協会認定ブライダルプランナー検定1級過去問題集		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	欧米のウェディングと日本のウェディングの基礎知識・用語・業界特性を理解、習得する				
到達目標	・欧米のウェディングと日本のウェディングにおいて、しきたりや慣習・知識等を理解する ・ブライダルプランナー検定1級を取得する				
評価基準	検定結果:60% プレゼンテーション:20% 小テスト:10% 授業態度:10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ブライダルプランナー検定1級				
関連科目	ブライダルプランナー検定Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	Ayame	実務経験	○		
実務内容	衣装スタイリストを経て、ゲストハウスのプランナーとして活躍。現在はフリープランナーとして世界中の結婚式をプロデュースした実務経験を基に、欧米のウェディングと日本のウェディングの基礎知識・用語・業界特性を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	American Weddings 第8章 様々なウェディング&イベント	・特別なウェディングや様々な会場・パーティについて学ぶ ・第8章の過去問題を解く
2	American Weddings 第9章、第10章 自己啓発/営業力/応対力	・自己啓発について学ぶ ・第9章、第10章の過去問題を解く
3	American Weddings 第11章 米国コンサルタントのビジネス	・米国コンサルタントビジネスについて学ぶ ・第11章の過去問題を解く
4	American Weddings 第12章 料金・契約書	・料金・契約書について学ぶ ・第12章の過去問題を解く
5	Japanese Weddings 第6章、第7章 新規接客営業	・新規接客業務、婚礼実務について学ぶ
6	Japanese Weddings 第8章、第9章 婚礼当日の実務と テーブルセッティング	・日本ウェディングの総まとめとして、第6章から第9章までの過去問題を解く
7	Japanese Weddings 第10章、第11章 様々なオレーション業務 業界展望と求められる人材像 ブライダルビジネスにおけるコミュニケーション ～ブライダル心理プログラム～ 日本ウェディングの過去問題	・日本ウェディングの総まとめとして、第10章から第11章までの過去問題を解く ・第6章から第11章までの過去問題でできないところを各々で解く
8	記述対策	・過去問題や対策プリントなどを作成し、対策を行う
9	検定対策(総まとめ)①	・過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う

10	検定対策(総まとめ)②	・過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う
11	検定問題解答・解説	・検定試験の解答・解説を行い、自己採点を行う
12	世界の結婚式を調べよう①	・グループ編成、調査対象国決定を決定し調査項目ピックアップ(国の背景・文化・人口・宗教・しきたり 結婚に対する意識・どんな結婚式をしているのか等) ・日本に調査国の結婚式(演出)を取り入れた場合どのような結婚式ができるかを考える
13	世界の結婚式を調べよう②	・グループごとに対象国を調べる(可能であればパワーポイントを作成する)
14	世界の結婚式を調べよう③	
15	世界の結婚式を調べよう④ 総まとめ	・グループごとにプレゼンテーションを行う ・総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	コーディネートB		
必修選択	選択	(学則表記)	コーディネートB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	会場・テーブルコーディネート・イメージ分類などブライダルデザインに繋がる知識や技術を学ぶ				
到達目標	テーブルコーディネートの必要性を理解する イメージ分類を理解した上でお客様のイメージする空間を形にできる				
評価基準	テスト40%・授業態度30%・提出物30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	安本 尚子	実務経験	○		
実務内容	ホテルにてウェディングプランナーとして勤務。挙式・披露宴のプランニング業務に従事する。ゲストハウスでの活動経験を基にブライダルデザインに繋がる知識や技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イメージ別コーディネート③	スイート・プリティーに分類されるコーディネートを学ぶ。
2	コラージュ③	スイート・プリティーに分類されるコーディネートのコラージュを作成する。
3	イメージ別コーディネート④	ナチュラルに分類されるコーディネートを学ぶ。
4	コラージュ④	ナチュラルに分類されるコーディネートのコラージュを作成する。
5	イメージ別コーディネート⑤	クラシック・フォーマルに分類されるコーディネートを学ぶ。
6	コラージュ⑤	クラシック・フォーマルに分類されるコーディネートのコラージュを作成する。
7	イメージ別コーディネート⑥	ゴージャスに分類されるコーディネートを学ぶ。
8	コラージュ⑥	ゴージャスに分類されるコーディネートのコラージュを作成する。
9	イメージ別コーディネート⑦	シンプル・モダンに分類されるコーディネートを学ぶ。
10	コラージュ⑦	シンプル・モダンに分類されるコーディネートのコラージュを作成する。

11	イメージ別コーディネート⑧	ジャパネスクに分類されるコーディネートを学ぶ。
12	コラージュ⑧	ジャパネスクに分類されるコーディネートのコラージュを作成する。
13	テスト	後期末テストの実施。
14	まとめ	コーディネートシートの提出。
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	コーディネートC		
必修選択	選択	(学則表記)	コーディネートC		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	空間を創り上げる要素について理解する				
到達目標	効果的な演出方法を理解し、適切な提案が出来る				
評価基準	テスト40%・授業態度30%・提出物30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	安本 尚子	実務経験	○		
実務内容	ホテルにてウェディングプランナーとして勤務。挙式・披露宴のプランニング業務に従事する。ゲストハウスでの実務経験を基に、空間を創り上げる要素について教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	テーブルクロスについて	テーブルクロスの質感・色・柄・折り方について
2	ナフキンについて	ナフキンの質感・色・柄について
3	音楽による演出	日本のBGMの現状と人気ランキング
4		ゲストの気持ちを盛り上げる音楽
5		楽器の特質を知る
6	照明による演出	日本の照明における現状とアレンジ方法
7		ゲストの気持ちを盛り上げる照明
8		照明の特質を知る
9	香りによる演出	香りの種類を知る
10		ゲストにとって心地よいと感じる香りを知る

11		ロイヤル・クラシックがテーマ
12	ウェルカムエリアの コーディネート	カジュアル・ナチュラル・リゾートがテーマ
13		和風・和モダン・エキゾチックがテーマ
14	テスト	前期末テストを実施する
15	総まとめ	前期総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	オリジナルプランニングA		
必修選択	選択	(学則表記)	オリジナルプランニングA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネートテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	新郎新婦のカウンセリングをもとに、カップルの特性を捉えた打合せ・プランニング方法を理解する				
到達目標	あらゆるシーンやカップルに合わせた、プランニング方法、打合せ方法を理解し、打ち合わせが出来るようになる。				
評価基準	テスト50% ロールプレイング40% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	パーティプロデュース、ブライダル知識				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	安本 尚子	実務経験	○		
実務内容	ホテルにてウェディングプランナーとして勤務。挙式・披露宴のプランニング業務に従事する。ゲストハウスでの活動経験を基に新郎新婦のカウンセリングをもとに、カップルの特性を捉えた打合せ・プランニング方法を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	打ち合わせスケジュール	成約から当日までの打ち合わせスケジュールを理解する
2	成約時の打ち合わせについて 打ち合わせ後処理について	成約時の打ち合わせと打ち合わせ後どのような処理をするのか理解する
3	招待状①	作成スケジュールと内容物について学ぶ
4	招待状②	発送時の注意点や文章の使い分けについて学ぶ
5	接客ロールプレイング	招待状決定～発送のご依頼までのロールプレイングを実施する
6	衣装・美容	衣装、美容の手配スケジュールと関わり方について学ぶ
7	引出物・引菓子・プチギフト	引出物、引菓子、プチギフトの手配スケジュールと手配するうえでの注意点を理解する
8	接客ロールプレイング	衣装～プチギフトの決定までのロールプレイングを実施する
9	料理・飲み物	料理、飲み物の提案方法について理解する
10	装花・ケーキ・写真・映像	装花・ケーキ・写真・映像の手配スケジュールと手配するうえでの注意点を理解する

11	接客ロールプレイング	料理～映像の決定までのロールプレイングを実施する
12	テスト	前期テスト
13	人前式プランニング①	拳式を組み立てるのに必要なヒアリングとは何かを学び ヒアリング内容から、お客様のニーズを取り入れたプランニングの仕方を理解する
14	人前式プランニング③	ヒアリング～ご提案までの流れをロールプレイングにて体験してみる
15	席次表について	配席表の手配について学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	オリジナルプランニングB		
必修選択	選択	(学則表記)	オリジナルプランニングB		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネートテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	新郎新婦のカウンセリングをもとに、カップルの特性を捉えた打合せ・プランニング方法を理解する				
到達目標	あらゆるシーンやカップルに合わせた、プランニング方法、打合せ方法を理解し、打ち合わせが出来るようになる。				
評価基準	テスト50% ロールプレイング40% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	パーティプロデュース、ブライダル知識				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	安本 尚子	実務経験	○		
実務内容	ホテルにてウェディングプランナーとして勤務。挙式・披露宴のプランニング業務に従事する。ゲストハウスでの活動経験を基に新郎新婦のカウンセリングをもとに、カップルの特性を捉えた打合せ・プランニング方法を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	披露宴プランニング①	披露宴を組み立てるのに必要なヒアリングとは何かを学ぶ
2	披露宴プランニング②	ヒアリング内容から、お客様のニーズを取り入れたプランニングの仕方を理解する
3	披露宴プランニング③	
4	披露宴プランニング④	
5	披露宴プランニング⑤	ヒアリング～ご提案までの流れをロールプレイングにて体験してみる ロールプレイング後はフィードバックの時間を取り振り返る
6	最終見積りについて①	見積りの出し方とお客様への説明の方法を学ぶ
7	最終見積りについて②	お客様のニーズに合わせて見積りを作成する
8	接客ロールプレイング	お客様への見積りの提示についてロールプレイングを実施する
9	進行打ち合わせ①	事前の進行打ち合わせにてどこまでお客様にご説明するのか理解する
10	進行打ち合わせ②	ロールプレイングにて実際に進行打ち合わせをする

11	披露宴当日の業務	披露宴当日のプランナーの役割を理解する
12	当日のアクシデント対応	当日起こる可能性のあるアクシデントについて知り、対応方法を学ぶ
13	クレーム対応	よくあるクレームや対応方法について知る
14	テスト	後期テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ハウスセールスA		
必修選択	選択	(学則表記)	ハウスセールスA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	公益社団法人 日本ブライダル文化復興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	<p>①新規接客や打ち合わせにおいての立居振舞、敬語、カウンセリング、トークスキル等を理解・修得し、円滑なコミュニケーション力をつける</p> <p>②新規接客で重要であるお客様の希望を引き出し、自社の魅力と合わせ提案し、成約に結び付ける過程を理解する。身に付けた基礎知識を実践(ロールプレイング)でお客様に合わせて使える話し方技法、考え方、気付きのポイントを学ぶ</p>				
到達目標	<p>①接客をするために必要な立ち居振舞いや敬語を身に付ける意味を理解し、授業、インターンシップ、日頃の学校生活で出来るようになる</p> <p>②自分自身に足りない力を見つけ、伸ばすためにはどうしたら良いかを知り改善する</p> <p>③カウンセリング方法、不安・悩み解消の授業で知識や技法を身に付け、本物式で実践できるようなる</p> <p>④ウェディングプランナーだけでなく、全ての職種に生きることを言い続けることで、モチベーションを上げ、授業に取り組む事が出来る</p>				
評価基準	テスト:50% ロールプレイング:40% 授業態度:10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ホテルセールスB・ブライダルプロジェクトⅡ(ウェディングプロデュース)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	Ayame	実務経験	○		
実務内容	衣装スタイリストを経て、ゲストハウスのプランナーとして活躍。現在はフリープランナーとして世界中の結婚式をプロデュースした実務経験を基に、ブライダル業界にて求められるハウスウェディングのセールスの知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	■導入 ■新規接客の流れ(復習)	教員自己紹介 なぜ目標があるのかを考える
2	成約率と8つの力	新規接客のゴールである成約率を上げるための力を身につける
3	新規接客の必要最低限の知識	新規接客における最低限の8つの力を身につける
4	ご来館アンケート	ご来館アンケートの目的と内容を理解する
5	アイスブレイク	①アイスブレイクの目的を理解する ②OKな話題、NGな話題について理解し実践する
6	ご来館アンケートを使ったアイスブレイクロールプレイング	ご来館アンケート、アイスブレイクのロールプレイングを実施
7	カウンセリング①	カウンセリングシートの内容と目的を理解し、効果的な質問ができるようになる。
8	カウンセリングシートの使い方と内容	

9	カウンセリング② ロールプレイング	お客様からこだわりの聴きだし方と希望が明確なお客様、希望が不明確なお客様に対してそれぞれの価値観を引き出すことを実践する。
10		
11		<ul style="list-style-type: none"> ・なぜを繰り返し、話を掘り下げる ・クセを見つけ改善 ・正しい敬語の使い方
12	カウンセリング③ ロールプレイング	
13		
14	半期のまとめ	半期のまとめを行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ホテルセールスB		
必修選択	選択	(学則表記)	ホテルセールスB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	公益社団法人 日本ブライダル文化復興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	<p>①新規接客や打ち合わせにおける立居振舞、敬語、カウンセリング、トークスキル等を理解・修得し、円滑なコミュニケーション力をつける。</p> <p>②新規接客で重要であるお客様の希望を引き出し、自社の魅力と合わせ提案し、成約に結び付ける過程を理解させ、身に付けた基礎知識を実践(ロールプレイング)でお客様に合わせて使える話し方技法、考え方、気付きのポイントを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>①接客をするために必要な立ち居振る舞いや敬語を身に付ける意味を理解し、授業、インターンシップ、日頃の学校生活で出来るようになる</p> <p>②自分自身に足りない力を見つけ、伸ばすためにはどうしたら良いかを知り改善する。</p> <p>③カウンセリング方法、不安・悩み解消の授業で知識や技法を身に付け、本物式で実践できるようなる。</p> <p>④ウェディングプランナーだけでなく、全ての職種に生きることを言い続けることで、モチベーションを上げ、授業に取り組む事が出来る。</p>				
評価基準	テスト:50% ロールプレイング:40% 授業態度:10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	ホテルセールスA・ブライダルプロジェクトⅡ(ウェディングプロデュース)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	Ayame	実務経験	○		
実務内容	衣装スタイリストを経て、ゲストハウスのプランナーとして活躍。現在はフリープランナーとして世界中の結婚式をプロデュースした経験を基に、ブライダル業界にて求められるホテルウェディングのセールスの知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	①会場見学 ロールプレイング	<ul style="list-style-type: none"> ・会場見学の順番や効果的な案内の仕方を理解する ・お客様の表情、反応を観察して希望を確認する
2	②会場見学 ロールプレイング	<ul style="list-style-type: none"> ・会場見学の順番や効果的な案内の仕方を理解する ・お客様の表情、反応を観察して希望を確認する
3	③会場見学 ロールプレイング	
4	魅力的な提案① 提案理由を添えた提案の仕方	
5	魅力的な提案② 競合先を意識した提案の仕方	それぞれの提案方法について理解する
6	魅力的な提案③	
7	見積り説明 ロールプレイング	見積り説明の仕方を理解する
8	空き状況の出し方 ロールプレイング	お客様と会場側を考えた空き状況の絞り方と提案の仕方を理解する

9	クロージング	成約、仮予約、未決定への意思の確認と迷いのサインの見極め方を理解する
10	アフターフォロー	電話、メール、手紙 それぞれの手段と内容について理解する
11	成約手続き 申込書、規約説明、 ご予約金のお預かり	申込書、規約説明、ご予約金のお預かりについて
12	新規接客の総まとめ	新規接客の流れとポイントの再確認し実践する チームワークの大切さを学ぶ
13		
14	半期のまとめ	半期のまとめを行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サービス実践A		
必修選択	選択	(学則表記)	サービス実践A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル		出版社	日本ホテル・レストランサービス技能協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	婚礼やレストランにおけるサービスの知識と技術を学び、お客様に合わせたサービスができ、テーブルマナーや飲食に関する知識を学び知見を広げる				
到達目標	基礎的な料飲サービスができる 正しい接客用語やテーブルマナーを理解し実践できる				
評価基準	テスト(実技・筆記):50% ロール・プレイング、シミュレーション:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトⅠ(模擬披露宴) ブライダルプロジェクトⅡ(ウェディングプロデュース)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	有岡 和則	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナー・バンケットマネージャーとして約10年間結婚式場にて勤務。ブライダル業界に求められる演出・ビジネススキル等を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	・自己紹介 ・授業の目的、使用教科書、成績評価、授業のルール ・サービスについて考える
2	接客の基本 接客における好ましい表現	サービスの姿勢、笑顔、接客用語、身だしなみ
3	什器備品の知識 テーブルクロスへのセッティング	それぞれの特徴や用途・取扱い方法を知る クロスのかけ方、ナフキン折りについて理解する
4	テーブルマナー メニュー表の読み方を知る	テーブルマナーを学ぶ
5	お出迎え～提供サービス① 実技(練習)	トレイの持ち方・2枚、3枚、4枚持ち・ドリンクサービス(ワイン・水) お出迎え、チェアサービス、卓挨拶、メニュー提示、オーダーテイクを学ぶ
6	お出迎え～提供サービス② 実技(練習)	
7	お出迎え～提供サービス③ 実技(練習)	
8	お出迎え～提供サービス④ 実技(練習)	
9	お出迎え～提供サービス⑤ 実技(練習)	
10	お出迎え～提供サービス⑥ 実技(半期まとめ)	

11	お出迎え～提供サービス⑦ 実技(半期まとめ)	半期のまとめを行う
12	レストランの管理業務組織を知る	レストランの管理業務・組織を知る
13	レストラン等の電話対応 アレルギーについて	レストランのレセプションの電話対応・正しい接客用語を学ぶ
14	半期の総まとめ	半期の総まとめを行う
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サービス実践B		
必修選択	選択	(学則表記)	サービス実践B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル		出版社	日本ホテル・レストランサービス技能協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	婚礼やレストランにおけるサービスの知識と技術を学び、お客様に合わせたサービスができ、テーブルマナーや飲食に関する知識を学び知見を広げる				
到達目標	基礎的な料飲サービスができるようになる 正しい接客用語やテーブルマナーを理解し実践できるようになる				
評価基準	テスト(実技・筆記):50% ロール・プレイング、シミュレーション:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトⅠ(模擬披露宴) ブライダルプロジェクトⅡ(ウェディングプロデュース)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	有岡 和則	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナー・バンケットマネージャーとして約10年間結婚式場に勤務。ブライダル業界に求められる演出・ビジネススキル等を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	飲料サービス①	水、コーヒー、紅茶のサービスを学ぶ
2	飲料サービス②	
3	ワイン・シャンパン・食前酒	抜栓方法や提供方法、食前酒について ワインリストの読み方、ワインの種類や特徴(産地・製造方法)を知る
4		
5	知識を広げよう①	食品の知識を学ぶ
6	知識を広げよう②	
7	レストランウェディングを知る・考える	現在のレストランウェディングの流行りや有名なレストラン等を知る どういふパーティが出来るのか?料理は?価格帯は?装飾は?どんなサービスをするべきか
8	レストランをプレゼンする	
9	デザート・フルーツ・チーズ サイドサラダのサービス	フルーツカットについて動画を見て学ぶ チーズの知識、製造方法を理解し、種類について理解する
10	カクテル①(考案)	グループでカクテルを考案する テーマを決定しプレゼンを実施

11	カクテル②(試作・プレゼン)	グループで試作をし、プレゼンテーションを行う
12	半期のまとめ	半期のまとめを行う
13	サービス実践①	各結婚式場のサービスの違いを知る
14	サービス実践②	サービスの実践 ウェディングプロデュースに向けたサービス実践
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダル英会話 I A		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダル英会話 I A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	Fun Time!		出版社	朝日出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	英語に興味を持ち、お客様に声がけ、ご案内ができるスキルを身につける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・単語や英文法の基礎を学び、英語を聞き取る事ができるようになる ・日常のありふれた会話を英語でロールプレイングができる(身振り手振りも大切な伝え方) 				
評価基準	小テスト30%・ロールプレイングテスト40%・授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	ブライダル英会話 I B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	Yukie	実務経験		○	
実務内容	アメリカにてアパレル企業立ち上げ、日本国内ではデザイナー、バイヤー等様々経験。イメージコンサルティングも学んでおり、英会話や話し方など仕事に役立つ知識を指導。実務経験を基に、基本的な英会話の知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	①授業の目的・成績評価・授業ルール・自己紹介・検定 ②UNIT1	①教員の自己紹介、英語習得の目的や学習するうえで大切なことを理解する。 ②単語と文法を確認 / ロールプレイング
2	①UNIT1 単語テスト/復習 ②UNIT2	①UNIT1単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
3	UNIT2 単語テスト/復習 UNIT3	UNIT2単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
4	UNIT3 単語テスト/復習 UNIT4	UNIT3単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
5	UNIT4 単語テスト/復習 UNIT5	UNIT4単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
6	UNIT5 単語テスト/復習 UNIT6	UNIT5単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
7	UNIT1-6 テスト(筆記) UNIT7	UNIT1-6 筆記テスト 単語と文法を確認 / ロールプレイング
8	UNIT7 単語テスト/復習 UNIT8	UNIT7単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
9	UNIT8 単語テスト/復習 UNIT9	UNIT8単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
10	UNIT9 単語テスト/復習 UNIT10	UNIT9単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング

11	UNIT10 単語テスト/復習 UNIT11	UNIT10単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
12	UNIT11 単語テスト/復習 UNIT12	UNIT11単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
13	UNIT7-12 テスト(筆記) Speech Training	UNIT7-12筆記テスト P74スピーチを実施
14	後期にむけて	後期に向けて理解する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダル英会話 I B		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダル英会話 I B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	Fun Time! みんなの外国語検定 デモ検定ブライダル		出版社	朝日出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	英語に興味を持ち、お客様に声がけ・ご案内ができるスキルを身につける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド接客外国語検定(英語・ブライダル)の取得 ・単語や英文法の基礎を学び、英語を聞き取る事ができる 				
評価基準	ロールプレイングテスト・デモ検定 30% 授業態度 30% 検定40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	インバウンド接客外国語検定／英語／ブライダル				
関連科目	ブライダル英会話 I A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	Yukie	実務経験		○	
実務内容	アメリカにてアパレル企業立ち上げ、日本国内ではデザイナー、バイヤー等様々経験。イメージコンサルティングも学んでおり、英会話や話し方など仕事に役立つ知識を指導。実務経験を基に、基本的な英会話の知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	①授業の目的・成績評価・授業ルール ②検定について ③前期復習	①英語習得の目的や学習するうえで大切なことを理解する。 ②検定について理解する ③前期の復習
2	デモ検定	ブライダルでの単語や文法を理解する
3	デモ検定	ブライダルでの単語や文法を理解する
4	デモ検定	ブライダルでの単語や文法を理解する
5	デモ検定	ブライダルでの単語や文法を理解する
6	デモ検定	ブライダルでの単語や文法を理解する
7	デモ検定	ブライダルでの単語や文法を理解する
8	デモ検定	ブライダルでの単語や文法を理解する
9	検定対策①	デモ検定
10	検定対策②	デモ検定

11	レストランサービスのロープレ テスト準備1	レストランサービスの台本作成
12	レストランサービスのロープレ テスト準備1	レストランサービスの台本作成・ロープレ練習
13	レストランサービスのロープレ テスト準備2	レストランサービスのロープレ練習
14	レストランサービスのロープレ テスト	レストランサービスのロープレ本番
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダル映像知識		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダル映像知識		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	プランナーとしての映像へのアプローチ・打ち合わせ方法やプロのテクニックを身につける				
到達目標	結婚式における映像の効果を理解し、簡易的な作品であれば自分で制作できるようになる				
評価基準	テスト・課題提出60%、授業態度・参加の積極性40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	三木 貴洋	実務経験	○		
実務内容	ブライダル映像制作会社に約9年間に在籍し、現在は映像事業責任者を担当。これまでの経験を活かし、音響・映像に関する知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・映像導入	授業の目的・到達目標の共有、映像作品の紹介
2	映像の役割	披露宴における映像の役割を理解、プランナーとの関わり方について
3	映像の基礎①	映像演出効果、編集表現方法について
4	映像の基礎②	映像プロダクションの基礎知識・撮影技法
5	映像の基礎③	映像撮影の基礎知識
6	映像編集に関わる音の基礎/著作権	音、曲の基礎知識、データの取り扱い、課題に基づき音楽編集 / 著作権について
7	映像撮影実践①	ブライダル映像撮影のポイントと実践
8	映像撮影実践②/映像編集基礎	ブライダル映像撮影の振り返り・ブライダル映像に関わる照明、演出 / 映像編集基礎
9	映像制作①	オリジナルのテーマ、ストーリー決め
10	映像制作②	絵コンテ制作・映像撮影・編集

11	映像制作③	映像撮影・編集
12	映像制作④	映像撮影・編集
13	映像制作⑤	映像撮影・編集
14	映像発表・まとめ	制作映像発表、総評、振り返り
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	WEBプランニング		
必修選択	選択	(学則表記)	WEBプランニング		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	起業家・フリーランスのための「ブログ・SNS集客」のキホン いちばんやさしいマーケティングの教本		出版社	同文館出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	プランナーとしてお客様のWEB上での顧客の認知から購買までの流れを理解し、WEBマーケティングの基礎を学ぶ				
到達目標	ゼクシィ本誌及び各種ポータルサイト、SNSを使用した効果的な集客の方法を学ぶ				
評価基準	テスト・課題提出60%、授業態度・参加の積極性40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	三木 貴洋	実務経験	○		
実務内容	ブライダル映像制作会社に約9年間に在籍し、現在は映像事業責任者を担当。これまでの経験を活かし、音響・映像に関する知識・技術を教授する。				

各回の展開

回数	単元	内容
1	マーケティング基礎	本講義の全体像、マーケティングの定義と背景
2	マーケティング基礎 I	マーケティングフローの理解(セグメンテーション、ターゲティング)
3	マーケティング基礎 II	マーケティングフローの理解(3C、4P)
4	マーケティング応用 I	視覚マーケティングとブランディング
5	マーケティング応用 II	視覚マーケティングとブランディング
6	ブライダルマーケティング基礎 I	ブライダルビジネスの基礎知識(業態、商品特性、カップルの検討行動)
7	ブライダルマーケティング基礎 II	反響経路の深い理解(ゼクシィ誌面)
8	ブライダルマーケティング基礎 III	反響経路の深い理解(ゼクシィnet)
9	WEBマーケティング基礎 I	WEBマーケティングの目的とブライダルにおけるWEBマーケティングの特殊性
10	WEBマーケティング基礎 II	流入施策の理解(WEB広告、SEO、SNSマーケティング、記事広告)

11	WEBマーケティング基礎Ⅲ	サイト改善施策の理解
12	WEBマーケティング応用Ⅰ	SNSマーケティングの概要
13	WEBマーケティング応用Ⅱ	Instagramのアカウント運用
14	WEBマーケティング応用Ⅲ	ブライダルにおけるSNS活用の事例
15	総復習&テスト	総復習および筆記テストを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けA		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点)仮ひも(1))・和装スリッパ(下着)・クリップ(5点セット)・足袋		出版社	桜花出版KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けの基礎を学び、着付けの知識があるプランナーを育成する				
到達目標	3級きもの講師取得				
評価基準	検定試験:40% テスト30% 授業態度:30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会のきもの着付け資格				
関連科目	着付けB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	齋藤 祐子 他1名	実務経験	○		
実務内容	結婚式をメインに、冠婚葬祭における各種着付け師として長年従事。広告等スチール撮影での着付け担当の経験もあり、様々な経験と豊富な知識を基に着付けに関する知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	着付け授業について	授業内容、教材・小物の説明、取得免許について、授業ルールの説明
2	小紋の着せ方1	補整について、長襦袢の着せ方・たたみ方
3	小紋の着せ方2	小紋の着付け(裾合わせ)、たたみ方、着物の部分名称
4	小紋の着せ方3	小紋の着付け(衿合わせ)
5	小紋の着せ方4	小紋の着付け(お端折の作り方)
6	小紋の着せ方5	半幅帯について、小紋に蝶結び、小テスト(着物の名称)
7	小紋の着せ方6	小紋に蝶結び 仕上げ
8	小紋の着せ方7	小紋に蝶結び 仕上げ
9	3級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
10	3級検定試験	小紋の着付けと蝶結び(20分)、たたみ方テスト
11	座学1	着物の名称(プリント①)、漢字の読み方(プリント③)、試験結果通知

12	浴衣の着せ方	浴衣の他装 浴衣に蝶結び
13	浴衣の着方 男性浴衣の着せ方	女性浴衣の自装 半幅帯バリエーション 男性浴衣について
14	小紋に名古屋帯	名古屋帯について、帯のセットの仕方、お太鼓結び
15	総合学習	小紋にお太鼓結び(紐使い) 前期まとめ(期末テスト)

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けB		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点)仮ひも(1))・和装スリップ(下着)・クリップ(5点セット)・足袋		出版社	桜花出版KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けの応用を学び、着付けの知識があるプランナーを育成する				
到達目標	2級きもの講師(12月強制受験 免許強制)				
評価基準	検定試験:40% テスト30% 授業態度:30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会のきもの着付け資格				
関連科目	着付けA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	齋藤 祐子 他1名	実務経験	○		
実務内容	結婚式をメインに、冠婚葬祭における各種着付け師として長年従事。広告等スチール撮影での着付け担当の経験もあり、様々な経験と豊富な知識を基に着付けに関する知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方1	後期授業の流れ 振袖の着付け(紐使い)準備・たたみ方
2	振袖の着せ方2	袋帯について、帯のセットの仕方、ふくら雀の結び方
3	振袖の着せ方3	振袖にふくら雀
4	振袖の着せ方4	振袖にふくら雀
5	振袖の着せ方5	振袖にふくら雀 仕上げ
6	振袖の着せ方6	振袖にふくら雀 仕上げ
7	振袖の着せ方7	振袖にふくら雀 仕上げ
8	2級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
9	2級検定試験	振袖の着付けとふくら雀(30分)
10	座学(2)	「きものTPO」(プリント③④)、試験結果通知
11	留袖1	留袖の着せ方、二重太鼓、たたみ方

12	留袖2	留袖・二重太鼓の仕上げ
13	花嫁白無垢(掛下)	白無垢の着せ方、ポーシング、たたみ方
14	紋服の着せ方	紋服について、着せ方・たたみ方
15	総合学習	女袴について 着せ方・たたみ方 後期総まとめ(期末テスト)

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレスソーイング&メンテナンス I		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスソーイング&メンテナンス I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会)日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレススタイリストの仕事の一環である、素材に合わせた、シミ抜き・補正(裁縫)・裾上げ・アイロン掛け等のメンテナンス業務を学ぶ				
到達目標	生地の種類やドレスのタイプによるメンテナンス方法や裁縫技術を習得する				
評価基準	テスト50%・作成物30%・授業態度(提出物含む)20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ドレスデザインA・ドレスデザインB・ドレスフィッティング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	公手 比奈子	実務経験	○		
実務内容	都内ドレスショップにてドレススタイリストと店舗管理業務を15年経験。 新人教育にも携わり、実務経験を基に、ドレスソーイングの知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ドレスの素材の知識	ドレスの素材と取り扱いについて
2	アイロン実習	手アイロン、スチームアイロン説明、実習
3	縫製の知識と製縫実習①	縫製の知識 流しまつり 返し縫い 練習
4	縫製の知識と製縫実習②	縫製の知識 流しまつり 返し縫い 練習
5	縫製の知識と製縫実習③	縫製の知識 奥まつり縫い コの字縫い 練習
6	縫製の知識と製縫実習④	千鳥がけ ループ スパンコール
7	縫製の知識と製縫実習⑤	ボタン スナップ ホック
8	縫製の知識と製縫実習⑥	ミシンの扱い方
9	リングピロー作成①	デザイン製図
10	リングピロー作成②	デザイン製図 生地縫断 縫製 装飾
11	リングピロー作成③	デザイン製図 生地縫断 縫製 装飾
12	しみ抜き実習	汚れの知識とシミ抜き方法口紅、ファンデーションの汚れを取る

13	和装(着物)の素材の知識	着物の素材、加飾技法、取り扱いについて
14	後期試験	筆記試験・実技試験
15	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレスソーイング&メンテナンスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスソーイング&メンテナンスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会)日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスソーイング&メンテナンスⅠ、Ⅱで取得した知識・技術を活かし、メンテナンス業務ができる。また、実際に作品作りを行う。				
到達目標	衣装のメンテナンス(裁縫業務・衣装点検)の基本を理解し、作成することができる リメイクドレス作成など卒業制作においては自身でデザインした作品をオリジナルで完成させ満足のいく作品を完成する事ができる				
評価基準	制作物50%・テスト30%・授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ドレスコーディネートA、ドレスコーディネートB、ブライダルプロジェクトⅡA、ブライダルプロジェクトⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	公手 比奈子	実務経験	○		
実務内容	都内ドレスショップにてドレススタイリストと店舗管理業務を15年経験。 新人教育にも携わり、実務経験を基に、ドレスソーイングの知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	衣装点検	学校の衣装を点検する/洗濯表示について
2	メンテナンス業務①	1着の衣装をメンテナンス
3	メンテナンス業務②	1着の衣装をメンテナンス
4	メンテナンス業務③	1着の衣装をメンテナンス
5	メンテナンス業務④	1着の衣装をメンテナンス
6	メンテナンス業務⑤	衣装・小物のメンテナンス
7	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作①	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
8	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作②	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
9	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作③	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
10	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作④	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
11	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作⑤	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う

12	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作⑥	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
13	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作⑦	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
14	前期試験	前期振り返り
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレスコーディネートA		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスコーディネートA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会)日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスフィッティングで学んだ技術を実践し、ロールプレイングを通して接客スキルを身に付ける				
到達目標	ドレスショップでの業務内容を理解し、新郎新婦様の小物を含めた洋装～和装のトータルコーディネートができ、ロールプレイングを通してトーク力向上、衣装の扱いを理解し正しく扱う事ができる現在のトレンドを理解しセンスを身につける				
評価基準	テスト50%・実技(ロールプレイング)30%・授業態度(提出物含む)20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ドレスコーディネートB、ドレスカウンセリングA、ドレスカウンセリングB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	高津 笹乃	実務経験	○		
実務内容	ドレスショップにてドレススタイリストとして6年間勤務。店長として店舗運営も経験しており、衣装に関わる知識・技術・運営について指導。実務経験を基に、ドレスコーディネート等の知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	貸衣装店の業務フロー 衣装決定から搬入準備	業務の流れ、内容を知る、伝票作成から品揃え、タグの貼り付けまでの一連の流れ 在庫管理の重要性と台帳作成 納品・請求書明細・受領書・会計請求書
2	衣装知識	自分の就職希望先、または1番好きなドレスショップやブランドを調べコラージュする
3	衣装知識	違いを把握するため自分の就職希望先の競合するショップやブランド、または2番目に好きなショップやブランドを調べコラージュする
4	プレゼンテーション	2～3週目で調べたドレスショップ・ブランドをコラージュを用いてプレゼンテーション
5	ディスプレイ技術	ディスプレイのデザイン・グループワーク 検討
6	ディスプレイ技術	ディスプレイのデザイン・グループワーク 実践
7	ディスプレイ技術	ディスプレイのデザイン・グループワーク プレゼンテーション
8	受付対応	電話受付・来店受付対応方法
9	衣装選択	妊婦の対応方法、体形別アドバイス方法の復習
10	衣装選択	アドバイス方法をもとにお題を出したものに対しドレスを選び プレゼン発表用に内容をまとめる
11	実技試験①	9～10週目の内容のプレゼンテーション(1人3分程度、人数によって調整)

12	フィッティング ロールプレイング	新郎衣装案内・列席衣装案内
13	実技試験②	受付対応のロールプレイングテスト
14	前期試験	筆記試験・実技試験
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレスコーディネートB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスコーディネートB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会)日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスフィッティングで学んだ技術を実践し、ロールプレイングを通して接客スキルを身に付ける				
到達目標	ドレスショップでの業務内容を理解し、新郎新婦様の小物を含めた洋装～和装のトータルコーディネートができ、ロールプレイングを通してトーク力向上、衣装の扱いを理解し正しく扱う事ができる現在のトレンドを理解しセンスを身につける				
評価基準	テスト50%・実技(ロールプレイング)30%・授業態度(提出物含む)20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ドレスコーディネートA、ドレスカウンセリングA、ドレスカウンセリングB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	高津 笹乃	実務経験	○		
実務内容	ドレスショップにてドレススタイリストとして6年間勤務。店長として店舗運営も経験しており、衣装に関わる知識・技術・運営について指導。実務経験を基に、ドレスコーディネート等の知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習	前期振り返りをしながら後期の導入を行う
2	新婦の洋装フィッティング①	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネート(ヘアアレンジ込)
3	新婦の洋装フィッティング②	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネート(ヘアアレンジ込)
4	トータルコーディネート①	タイムを計り、ドレスのトータルコーディネート実践
5	トータルコーディネート②	タイムを計り、ドレスのトータルコーディネート実践
6	ブライダルコレクションに向けてドレスコーディネート①	ブライダルプロジェクトと連動
7	ブライダルコレクションに向けてドレスコーディネート②	ブライダルプロジェクトと連動
8	ブライダルコレクションに向けてドレスコーディネート③	ブライダルプロジェクトと連動
9	ブライダルコレクションに向けてドレスコーディネート④	ブライダルプロジェクトと連動
10	ドレスコーディネート接客ロールプレイング①	授業で学んだ内容をもとに受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング(動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う)

11	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング②	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う)
12	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング③	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う) ※ヘアを変更する
13	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング④	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う) ※ヘアを変更する
14	後期試験	筆記試験・実技試験
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスカウンセリングA		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスカウンセリングA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレススタイリストに必要な、カウンセリング力、トーク力を身に付ける				
到達目標	接客業において必要な基礎スキルを身に付ける 幅広い年齢のお客様を自信を持って対応できる				
評価基準	ペーパーテスト40% 実技試験40% 授業態度(提出物含む)20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ドレスカウンセリングB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	Ayame	実務経験	○		
実務内容	衣装スタイリストを経て、ゲストハウスのプランナーとして活躍。現在はフリープランナーとして世界中の結婚式をプロデュースした実務経験を基に、ドレスカウンセリング等の知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	接客業において必要な事を知る カウンセリングとはなにか、カウンセリングの意味を知る 身だしなみについて
2	表情練習①	笑顔を中心に接客における表情練習を行う
3	表情練習②	撮影した動画を見て客観的に自分の表情を分析する
4	話し方・発声練習	お客様に好感を持っていただく為の話し方・発声方法を知る
5	お客様心理を学ぶ①	お客様の「イラッ」「モヤッ」をなくす基本の接客
6	お客様心理を学ぶ②	お客様の「イラッ」「モヤッ」をなくす基本の接客
7	敬語での会話練習①	敬語のみでお題に対してスピーチを行う
8	敬語での会話練習②	敬語のみでお題に対して会話を行う練習を行う
9	お客様心理を学ぶ③	好感度を上げる接客方法 接客を好きになる
10	花嫁クラス別対応方法①	花嫁クラス別対応方法を考える

11	花嫁クラス別対応方法②	花嫁クラス別対応方法を考える
12	花嫁クラス別対応方法③	花嫁クラス別対応方法を考える
13	前期試験	筆記試験
14	前期試験	実技試験
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスカウンセリングB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスカウンセリングB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレススタイリストに必要な、カウンセリング力、トーク力を身に付ける				
到達目標	接客業において必要な基礎スキルを身に付ける 幅広い年齢のお客様を自信を持って対応できる				
評価基準	ペーパーテスト40% 実技試験40% 授業態度(提出物含む)20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ドレスカウンセリングA、ドレスコーディネートA、ドレスコーディネートB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	Ayame	実務経験	○		
実務内容	衣装スタイリストを経て、ゲストハウスのプランナーとして活躍。現在はフリープランナーとして世界中の結婚式をプロデュースした実務経験を基に、ドレスカウンセリング等の知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 接客の基本を知る	前期振り返りをしながら後期の導入を行う 7つの接客応対用語・気配りワード・初対面の人との話題づくり
2	カウンセリング応用①	カウンセリング、ヒアリング練習 明確・不明確の答えに対するカウンセリング法
3	カウンセリング応用②	カウンセリング、ヒアリング練習 明確・不明確の答えに対するカウンセリング法
4	カウンセリング応用③	カウンセリング、ヒアリング練習 明確・不明確の答えに対するカウンセリング法
5	カウンセリング実践①	2～4週で学んだ事を実践しながら行う
6	カウンセリング実践②	2～4週で学んだ事を実践しながら行う
7	花嫁クラスタ別カウンセリング練習①	前期に学んだ花嫁クラスタ別のカウンセリングを実践していく
8	花嫁クラスタ別カウンセリング練習②	前期に学んだ花嫁クラスタ別のカウンセリングを実践していく
9	カウンセリング実践③	実際にペアを組みカウンセリング～クロージングまでの接客の実践を行う
10	カウンセリング実践④	実際にペアを組みカウンセリング～クロージングまでの接客の実践を行う

11	カウンセリング実践⑤	実際にペアを組みカウンセリング～クロージングまでの接客の実践を行う
12	カウンセリング実践⑥	実際にペアを組みカウンセリング～クロージングまでの接客の実践を行う
13	後期試験	筆記試験
14	後期試験	実技試験
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	洋装・和装メイクA		
必修選択	選択	(学則表記)	洋装・和装メイクA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	メイク道具一式、ヘア道具一式(後期) ボディージュエリー道具、和装カツラ(学校準備)		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	和装メイクやかつら技術を知ると共に様々なシーンを予想しながら和装・洋装メイクの提案ができるような力を身につける				
到達目標	洋装和装メイクのレパトリーを増やし、提案力を高める 結婚式の本番同様に限られた時間の中でヘアメイクのチェンジができる				
評価基準	前期…実技テスト40% 小テスト(実技筆記・課題提出含む)30% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本美 さちこ	実務経験	○		
実務内容	美容室に勤務しブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして現役活動。実務経験を基に、和装メイクやかつら技術を教授すると共に、和装・洋装メイクを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 授業スケジュールの確認	オリエンテーション 洋装メイク・和装メイクについて説明 水化粧導入
2	和装花嫁のメイクのテクニック①	かつらの扱い方や付け方などを学ぶ 各名称の説明、水化粧のやり方を学ぶ
3	和装花嫁のメイクのテクニック②	かつらの扱い方や付け方などを学ぶ 各名称の説明、水化粧のやり方を学ぶ
4	和装花嫁のメイクのテクニック③	かつらの下地のやり方 水化粧のやり方を学ぶ、洋装ファンデーションでの和装メイク
5	和装花嫁のメイクのテクニック④	和装花嫁のヘアのボリュームの出し方を学ぶ
6	シーンに合わせた洋装メイク①	ウェディングシーンのテーマを決め そのシーンに合わせたメイクテクニックを学ぶ
7	シーンに合わせた洋装メイク②	
8	花嫁のカウンセリングシート作成	カウンセリングシートの作成 カウンセリングシートをもとに時間を意識して希望のメイクを施術する
9	シーンに合わせた和装メイクから 洋装メイクへチェンジ①	ウェディングシーンのテーマを決め そのシーンに合わせたメイクテクニックを学ぶ 和装メイクから洋装メイクへのチェンジを学び、実践する 屋外・ロケーションフォトのメイクを学ぶ
10	シーンに合わせた洋装メイクから 和装メイクへチェンジ②	ウェディングシーンのテーマを決め そのシーンに合わせたメイクテクニックを学ぶ 洋装メイクから和装メイクへのチェンジを学び、実践する 屋外・ロケーションフォトのメイクを学ぶ

11	実技テスト(1人目) 筆記テスト	課題:提示したウェディングシーンにあったメイク テーマに合わせてメイクチェンジ
12	実技テスト(2人目)	
13	ボディメイクのやり方 ボディジュエリー	ボディメイクで身体も美しく見せるメイクを学び実践 新婦のボディジュエリーを学ぶ
14	ボディジュエリーのやり方	新婦のボディジュエリーを学ぶ
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	洋装・和装メイクB		
必修選択	選択	(学則表記)	洋装・和装メイクB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	メイク道具一式、ヘアー道具一式(後期) ボディージュエリー道具、和装カソラ(学校準備)		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	和装メイクやかつら技術を知ると共に様々なシーンを予想しながら和装・洋装メイクの提案ができるような力を身につける				
到達目標	洋装和装メイクのレパトリーを増やし、提案力を高める 結婚式の本番同様に限られた時間の中でヘアメイクのチェンジができる				
評価基準	後期…卒業制作30% 実技テスト30% 小テスト(実技筆記・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本美 さちこ	実務経験	○		
実務内容	美容室に勤務しブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして現役活動。実務経験を基に、和装メイクやかつら技術を教授すると共に、和装・洋装メイクを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ブライダル対象別マルチメイク	オリエンテーション 性別や、年齢別のヘアメイクテクニックを学ぶ ボディートラブルの隠し方、列席者メイク等
2	和装色打掛 白無垢のヘアメイクテクニック①	色打掛に合わせたヘアメイクのテクニックについて学ぶ
3	和装色打掛 白無垢のヘアメイクテクニック②	相モデルで実践 ドレスや着物を指定した上で、カウンセリングを行う カウンセリングシート作成 挙式、お色直し、披露宴までの流れに合わせたテクニックを学び実践
4	実技テスト	実技テスト
5	新郎ヘアメイク①	新郎のヘアセットについていくつかパターンを学び 相モデルでメイクの練習をする
6	新郎ヘアメイク②	
7	卒業制作準備①	シーンを決め、相モデルにてカウンセリング カウンセリングをもとにデッサンシートの作成 これまでやってきた授業をいかして和装・洋装のメイクとメイクチェンジ
8	卒業制作準備②	
9	卒業制作準備③	
10	卒業制作準備④	

11	卒業制作撮影①	シーンを決め、そのイメージにあったヘアメイクを実践・撮影 メイクチェンジを行い撮影
12	卒業制作撮影②	
13	卒業式の袴に合わせたヘアメイク①	カウンセリングを行いデザイン画を描く ヘアメイクの提案をし、相モデルで行う
14	卒業式の袴に合わせたヘアメイク②	
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式ケア・カラー・アート用具一式・ジェルキット(中級検定用具一式)UVランプ、カラーポリッシュ、チップ、ネイル検定2級に必要な道具		出版社	日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルの基礎技術の知識と技術をマスターし、その先の応用技術ができるようネイルアートの幅を広げ習得する				
到達目標	ネイルの基本的なアートができる 応用を学び、幅や技術の幅を広げる事ができる				
評価基準	前期…実技テスト30% 筆記テスト30% 授業態度20% 提出物20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター JNECネイリスト技能検定 NPO法人日本ネイリスト協会 JNAジェルネイル技能検定試験				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	原田 実保	実務経験	○		
実務内容	日本ネイリスト協会常任本部認定講師、検定試験官、コンテスト審査員等多数経験。ネイリスト歴25年。 常任本部認定講師の資格を活かし、ネイルの基礎技術の知識と技術をマスターし、その先の応用技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ジェルネイル中級検定対策	オリエンテーション 中級検定説明 【筆記】 中級検定筆記対策 【実技】 中級検定説明 中級検定対策
2	ジェルネイル中級検定対策	【筆記】 ジェル検定中級対策 【実技】 中級検定対策 カラーグラデーション(ジェルP88～91)
3		ブライダル&トレンドアート②
4		【筆記】 ジェル検定中級対策 【実技】 中級検定対策 フレンチ(ジェルP92～95)
5		【筆記】 ジェル検定中級対策 【実技】 中級検定対策 フレンチ(ジェルP92～95)
6		【実技】 ジェルクリアスカルプチュア(テクニカルシステム ジェル P62～66)
7		【実技】 ジェルクリアスカルプチュア(テクニカルシステム ジェル P62～66)
8		【実技】 中級内容
9	【実技】 中級内容	【実技】中級内容でタイムトライアル(第一・第二通し)
10	【実技】 中級内容	【実技】中級内容でタイムトライアル(第一・第二通し)

11	【実技】テスト	中級検定の内容で実技テストを行う
12	【実技】テスト	
13	ブライダル&トレンドアート①	流行のトレンドアートについて学ぶ
14	ブライダル&トレンドアート②	
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式ケア・カラー・アート用具一式・ジェルキット(中級検定用具一式)UVランプ、カラーポリッシュ、チップ、ネイル検定2級に必要な道具		出版社	日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルの基礎技術の知識と技術をマスターし、その先の応用技術ができるようネイルアートの幅を広げ習得する				
到達目標	ネイルの基本的なアートができる 応用を学び、幅や技術の幅を広げる事ができる				
評価基準	実技テスト30% 筆記テスト30% 授業態度20% 提出物20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター JNECネイリスト技能検定 NPO法人日本ネイリスト協会 JNAジェルネイル技能検定試験				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	原田 実保	実務経験	○		
実務内容	日本ネイリスト協会常任本部認定講師、検定試験官、コンテスト審査員等多数経験。ネイリスト歴25年。 常任本部認定講師の資格を活かし、ネイルの基礎技術の知識と技術をマスターし、その先の応用技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 【筆記】2級筆記対策 【実技】2級検定対策	オリエンテーション 教材配布(名称及び説明) 【筆記】2級検定筆記対策 【実技】2級検定説明 2級検定対策 (チップラップ、カラーリング)
2	【筆記】2級筆記対策 【実技】2級検定対策	【筆記】2級検定筆記対策 【実技】ケア、カラーリング 2級に対応できる仕上がりを目指す
3		【筆記】2級検定筆記対策 【実技】ケア、カラーリング 2級に対応できる仕上がりを目指す
4		【実技】2級検定対策 チップラップ～カラーリング 2級検定の後半試験内容を流れて学ぶ カラーリングは2級に対応できる仕上がりを目指す
5		【筆記】2級対策 【実技】チップ&ラップ、カラーリング、ネイルアート
6		【筆記】2級対策 【実技】チップ&ラップ、カラーリング、ネイルアート
7		
8		【筆記】2級筆記対策 【実技】2級検定対策(第二課題 タイムトライアル)
9		
10	実技テスト	【筆記】2級検定の内容で筆記テストを行う 【実技】2級検定の内容で実技テストを行う

11	実技テスト	【実技】2級検定の内容で実技テストを行う
12	卒業制作①	テーマに合わせた作品製作
13	卒業制作②	
14	卒業制作③	
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ブライダルエステA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルエステA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	クリエース化粧品(BP科/B科/BD科2年生用 エステセット)、ナースシューズ、実習着、大タオル、白タオル、コットン、消毒液		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティックの基礎を学ぶことで将来、お客様にエステへ通う事の意義や重要性をつ伝える事を習得する				
到達目標	基礎でもあるフェイシャルエステとボディエステが施術できる				
評価基準	筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人 日本エステティック協会 認定フェイシャル&ボディエステティシャン				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	宇野 文美代	実務経験	○		
実務内容	エステサロンにてエステティシャンとして勤務後、教員としてエステティシャン教育に携わる。実務経験を基に、基礎的なエステティックの技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション エステとは 使用方法と説明	オリエンテーション <input type="checkbox"/> ベッドメイク・スチームタオルづくり <input type="checkbox"/> 化粧品配布と取扱いについて <input type="checkbox"/> 一連の流れについて
2	ボディ技術理論 生理解剖/エステティック種類	<input type="checkbox"/> ボディエステティックとは <input type="checkbox"/> トリートメントの目的を学ぶ <input type="checkbox"/> 皮膚の構造を知る <input type="checkbox"/> エステサロンの種類について学ぶ
3	マッサージ① ホットタオル拭取り	マッサージ導入・デモ 下肢後面 軽擦法～強擦法・揉捻法・打法・振動法 圧迫法～軽擦法
4	マッサージ② ホットタオル拭取り	
5	マッサージ③ ホットタオル拭取り	
6	実技テスト①	ご案内～マッサージ～ホットタオル～仕上げ
7	アロマとは 精油の基礎知識を学ぶ	精油について 精油が心身に作用する経路を知る
8	アロマテラピーの利用法 小テスト	香りのイメージを学ぶ 精油のもととなる植物の芳香物質芳香浴法・沐浴法・吸入法/安全の為の注意点など
9	腰背部マッサージ① (アロマトリートメント)	デモンストレーション・手技・拭き取りについて学ぶ
10	腰背部マッサージ② (アロマトリートメント)	復習

11	腰背部マッサージ③ (アロマトリートメント)	復習
12	復習 通し練習① 小テスト	腰背部(アロマトリートメント)
13	復習 通し練習② 小テスト	腰背部(アロマトリートメント)
14	筆記テスト	前期で学んだ範囲の筆記テストを作成し実施
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ブライダルエステB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルエステB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	クリエース化粧品(BP科/BC科2年生用 エステセット)、ナースシューズ、実習着、大タオル、白タオル、コットン、消毒液		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティックの基礎を学ぶことで将来、お客様にエステへ通う事の意義や重要性を伝えることを習得する				
到達目標	基礎でもあるフェイシャルエステとボディエステが施術できる				
評価基準	筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人 日本エステティック協会 認定フェイシャル&ボディエステティシャン				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	宇野 文美代	実務経験	○		
実務内容	エステサロンにてエステティシャンとして勤務後、教員としてエステティシャン教育に携わる。実務経験を基に、基礎的なエステティックの技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション フェイシャル技術理論 皮膚学について	<input type="checkbox"/> オリエンテーション <input type="checkbox"/> フェイシャルについて「トリートメントの目的」 ・皮膚の構造を学ぶ
2	フェイシャルケアの流れ ポイントクレンジング	フェイシャルセッティング ポイントメイククレンジング/手技練習について学ぶ
3	クレンジング～ コットン・スポンジ拭取り ホットタオルふき取り	クレンジング・拭き取り/手技練習について学ぶ ホットタオル拭取りのための準備や方法を学ぶ
4	クレンジングから復習	ホットタオル拭き取り実践
5	マッサージ～ふき取り～仕上げ①	マッサージ・ホットタオル拭き取り～仕上げを行う①
6	マッサージ～ふき取り～仕上げ②	マッサージ・ホットタオル拭き取り～仕上げを行う②
7	クレンジング～ マッサージ～ふき取り～仕上げ①	クレンジングからホットタオル拭き取り～マッサージ～ふき取り～仕上げ①

8	クレンジング～ マッサージ～ふき取り～仕上げ②	クレンジングからホットタオル拭き取り～マッサージ～ふき取り～仕上げ②
9	実技テスト	後期に学んだ範囲…フェイシャル
10	フェイシャルパック ディープクレンジング① ピーリング)	<input type="checkbox"/> デモンストレーションより学び実践 ・手技 ・拭き取り
11	フェイシャルパック ディープクレンジング② ピーリング)	<input type="checkbox"/> 前回の復習・実践 ・手技 ・拭き取り <input type="checkbox"/> 小テスト(フェイシャルパックのテスト)
12	フェイシャルカウンセリング①	<input type="checkbox"/> お客様のお肌状態・お悩みに合わせてフェイシャルパック・ディープクレンジングの種類を提案し、技術ができる <input type="checkbox"/> カウンセリング～ディープクレンジング～フェイシャルパック
13	フェイシャルカウンセリング②	<input type="checkbox"/> お客様のお肌状態・お悩みに合わせてフェイシャルパック・ディープクレンジングの種類を提案し、技術ができる <input type="checkbox"/> カウンセリング～ディープクレンジング～フェイシャルパック
14	筆記テスト	筆記テスト…後期で学んだ範囲
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	花嫁着付け I A		
必修選択	選択	(学則表記)	花嫁着付け I A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点)仮ひも)・和装スリッパ(下着)・クリップ(5点セット)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付けも習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける				
到達目標	3級きもの講師取得				
評価基準	検定試験:40% テスト30% 授業態度:30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会のきもの着付け資格				
関連科目	花嫁着付け I -B(後期) 花嫁着付け II -A・B(2年)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	齋藤 祐子 他1名	実務経験		○	
実務内容	結婚式をメインに、冠婚葬祭における各種着付け師として長年従事。広告等スチール撮影での着付け担当の経験もあり、実務経験を基に、着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付けも習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	着付け授業について	授業の流れ、授業ルールについて、教材小物の説明・記名、取得免許について、 審査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補正について、長襦袢の着せ方、たたみ方
3	小紋の着せ方2	小紋の着付け(裾合わせ)、着物のたたみ方
4	小紋の着せ方3	小紋の着付け(衿合わせ)
5	小紋の着せ方4	小紋の着付け(お端折の作り方)
6	小紋の着せ方5	半幅帯について、小紋に蝶結び、小テスト(着物の名称)
7	小紋の着せ方6	小紋に蝶結び 仕上げ
8	小紋の着せ方7	小紋に蝶結び 仕上げ
9	3級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
10	3級検定試験	小紋の着付けと蝶結び(20分)、たたみ方テスト

11	座学1 浴衣の着方	着物の名称(プリント①)、漢字の読み方(プリント②) 浴衣の自装、試験結果通知
12	浴衣の着せ方	浴衣の他装、半幅帯バリエーション、男性浴衣の着せ方
13	小紋と名古屋帯1	名古屋帯について、帯のセットの仕方、お太鼓結び
14	小紋と名古屋帯2	普段着の着付け(紐使い)、小紋にお太鼓結び仕上げ
15	総合学習	振袖について、前期総まとめ(小物使いと紐使い) 期末テスト

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	花嫁着付け I B		
必修選択	選択	(学則表記)	花嫁着付け I B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点)仮ひも)・和装スリッパ(下着)・クリップ(5点セット)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付けも習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける				
到達目標	2級きもの講師取得				
評価基準	検定試験:40% テスト30% 授業態度:30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会のきもの着付け資格				
関連科目	花嫁着付け I -B(後期) 花嫁着付け II -A・B(2年)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	齋藤 祐子 他1名	実務経験		○	
実務内容	結婚式をメインに、冠婚葬祭における各種着付け師として長年従事。広告等スチール撮影での着付け担当の経験もあり、実務経験を基に、着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付けも習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方1	後期授業の流れ 振袖の着付け(紐使い)準備・たたみ方
2	振袖の着せ方2	袋帯について、帯のセットの仕方、ふくら雀の結び方
3	振袖の着せ方3	振袖にふくら雀
4	振袖の着せ方4	振袖にふくら雀 仕上げ
5	振袖の着せ方5	振袖にふくら雀 仕上げ
6	振袖の着せ方6	振袖にふくら雀 仕上げ
7	振袖の着せ方7	振袖にふくら雀 仕上げ
8	2級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
9	2級検定試験	振袖にふくら雀(30分)
10	座学2	「きものTPO」(プリント③④)、試験結果通知

11	留袖の着せ方1	留袖について、留袖の着付け、二重太鼓の結び方
12	留袖の着せ方2	留袖の着付け、年齢別・体型別の着付け
13	留袖の着せ方3	留袖の着付け 仕上げ
14	紋服の着せ方	紋服について 着せ方・たたみ方
15	総合学習	女袴について 着せ方・たたみ方 後期まとめ 期末テスト

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	60
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価75点(評価表にて採点)、学校評価25点(レポート)				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	野中 菜美	実務経験			
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	60
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価75点(評価表にて採点)、学校評価25点(レポート)				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	野中 菜美	実務経験			
実務内容					